

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第96号（通巻第163号）

2011年3月30日発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
[URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/](http://www.cer.yamanashi.ac.jp/)

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、変更しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ Moodle 講習会のご報告

2月23日(水)、情報処理教室(J321教室)において、Eラーニング・ワーキンググループ委員会、総合情報戦略機構、大学教育研究開発センター、教育人間科学部 附属教育実践総合センターの共催により、Moodle 講習会が開かれました。今回の講習会は、教育人間科学部 国際文化講座の滝口晴生氏を講師に、「『Moodle 操作の手引き』を見ながらコース設定実習－自分のクラスのレポート提出環境を設定してみよう」をテーマに、16名が参加しました。

講習では、受講者が担当している科目に、他の受講者が学生として受講するように科目登録者を追加した上で、実際にレポートを提出したり、そのレポートにコメントや評点(成績)をつけてフィードバックしたり、複数のレポートの平均点を見る機能を使ったり、と実践的な講習を行いました。

今回の Moodle 講習会の資料や、過去の講習会資料、Moodle の使い方に関するマニュアルは、Moodle サーバから見るができますので、以下の手順でアクセスしてください。

- ・ CNS にログインし、右の「E-learning」をクリック。
- ・ 「山梨大学 e-Learning Portal」画面の左下の「e-Learning ログイン画面」をクリックすると Moodle のトップページが開きます。
- ・ 右下の「マイコース」の自分の担当科目一覧の下にある青字の「moodle 講習会 2010」をクリックします。

＜見当たらない場合にはマイコースの一番下「すべてのコース」をクリックし、下から2番目の「moodle 講習会」をクリックしてください＞

- ・ 1回目のアクセスの時だけ、登録キー(パスワードにあたる)の入力を要求されるので、moodle を入力します。
- ・ 2009年度以前の Moodle 講習会の資料も、同様の方法で見ることができます。

■ 第5回連携・教育研究会のご報告

3月11日(金)、県総合教育センターにおいて、第5回連携・教育研究会を開催しました。大

学側からは、加藤センター長、谷口教授、鳥海教授、嶋田教授、雨宮・瀧田客員教授、成田准教授、早川准教授が参加しました。研究会では、「連携・教育研究会のまとめと来年度の計画案について」、「研究発表大会のまとめと主事研究について」等の協議がなされました。研究内容については、総合教育センターの主事研究が深められたことや「学校制度・経営論」9名の先生方に御協力をいただいたことなどが出されました。今年度の成果と課題を踏まえる中、平成23年度の計画案についても協議がなされ、この研究会を通じてその成果を実践センターと教育センター双方に還元できるよう取り組んでいくことが確認されました。

■ 大学 e ラーニング協議会 総会・フォーラム 2010 及び福井県立大学の e ポートフォリオ，大学 SNS の視察のご報告

2011年3月25日（金）、金沢大学 角間キャンパスにおいて、大学 e ラーニング協議会 総会・フォーラム 2010 が開催され、山梨大学からは、大学教育研究開発センターの日永龍彦教授、E-ラーニング・ワーキンググループ委員長で工学部土木環境工学科の佐藤真久教授、総合情報戦略機構の奥原利昌係長らとともに、教育実践総合センターの成田雅博准教授が参加しました。電気通信大学教授の岡本敏雄会長による挨拶、東京農工大学 大学教育センターの加藤由香里准教授による基調講演に続き、個人研究・個別事例発表があり、その後、以下の3つの部会と e ラーニング活用事例調査委員会による報告、このたびの大震災で通常の授業の実施が困難な大学に対して e ラーニングを活用してどのような支援が可能か等についての意見交換が行われました。

- ・ 第1部会：ユーザインターフェイスとシステム連携検討部会
世話人校：関西大学・熊本大学
- ・ 第2部会：ポートフォリオによる教育支援検討部会
世話人校：電気通信大学・佐賀大学・信州大学
- ・ 第3部会 教材共有検討部会
世話人校：千歳科学技術大学・金沢大学

上記の総会・フォーラムの前後に、上記第2部会の主催により、福井県立大学及び金沢工業大学の e ラーニングと e ポートフォリオ，大学 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の視察がありました。実践総合センターの成田准教授は、3月24日（木）の福井県立大学の視察に参加しました。

福井県学習コミュニティ推進協議会会長の山川修 福井県立大学教授から、福井県内の7つの高等教育機関が連携して、他機関の学習資源に容易にアクセスできる環境の構築と学習コミュニティの推進をめざす『F レックス』の活動について説明がありました。また『F レックス』において、実際に利用されている、e ラーニングシステムの Moodle、SNS のプラットフォームとして人気の高い OpenSNP、Moodle との相性が良い e ポートフォリオの Mahara の連携の実際について説明があり、意見交換が行われました。参加者としては、山梨大学においても、SNS の導入により学生・教職員相互のコミュニケーションや学生同士・教職員同士の結びつきを強められ、e ポートフォリオの導入・活用により学習活動のふりかえりや相互閲覧を促進され、学習効果があがるのではないかという感想をもちました。

※ 大学eラーニング協議会の概要、活動については <http://www.uela.org/> を、『Fレックス』については <http://f-leccs.jp/> をご覧ください。

■ 平成23年度前期教育ボランティアガイダンスのご案内

本センターでは、事業支援プロジェクトー教員志望大学生による支援事業として、教育ボランティア活動を実施しています。この事業にかかわる学生を対象にした、平成23年度前期の教育ボランティアガイダンスを下記のとおり開催いたします。

受け入れ先の教育委員会、各学校・機関の担当者が活動内容等の説明を行います。今回のガイダンスから1日のみの実施となり、申込み方法も変更となりますので、教育ボランティア活動へ参加希望の学生の皆さんは必ず出席してください。

日時：平成23年4月20日（水）14：45～16：50

場所：N-11・N-12教室

■ 「教育相談」の報告書に関するお願い

個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても、「日付・方法・相談対象・学年・性別・相談者・相談内容」をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので、どうぞお申しつけください。

報告用紙は、教育人間科学部総務グループ入口をに入って左手にあるレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。ご利用に際しましては、事前に教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。鍵はセンター事務室にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.kjb.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。